

40代・50代の物忘れ うつ? それとも若年性認知症?

医師が教える 見分け方と相談先



この動画の 4つのポイント

- 1 珍しくない（40代・50代でも）
- 2 物忘れより先に
仕事のミス・性格変化
- 3 うつ・更年期とまちがえやすい
- 4 治る病気が隠れていることも

若年性認知症 = 65歳未満で発症



世界

約 **390** 万人



日本

約 **3.5** 万人



平均発症

54 歳ごろ

高齢者の認知症との「3つの違い」

① 仕事と重なる
(退職・収入の減少)



② お金の問題が大きい
(ローン・教育費)



③ 子育て・親の介護と重なる



だから **生活全体の支え** が必要になる

物忘れより**先**に出るサイン



できた仕事で
ミスが増える



約束を忘れる・
同じ話をくり返す



身だしなみに
無頓着



怒りっぽい/
無関心になる

! その「**性格の変化**」が、**大きな誤解**を生みます

うつ病 vs 認知症 — 見分けの着眼点

着眼点	うつ病	認知症
 物忘れの自覚	強く訴える	乏しい・取り繕う
 いつから	はっきり	曖昧
 治療への反応	改善しうる	改善しにくい

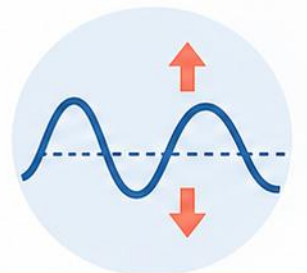
! 行動変化型では初診の**約7割**が精神疾患と診断の報告も

更年期・ストレスとの違い

更年期・ストレス



ほてり・発汗など
体症状を伴う



時間とともに
変動する

VS

若年性認知症



症状が着実に
進行する



能力そのものが
落ちていく



気分だけで説明できない低下が続くなら**評価を**

原因はひとつではない（日本の調査）

原因	割合の目安
 アルツハイマー型	約半数（最多）
 血管性（脳梗塞・脳出血のあと）	次に多い
 前頭側頭型（性格・行動の変化）	若年で目立つ
 頭部外傷・レビー小体型・お酒 ほか	さまざま



若い人ほど **遺伝・治る原因** の割合も高い

前頭側頭型 — 若年で目立つタイプ



記憶は
比較的たもたれる



抑制低下・
無関心・同じ行動の
くり返し



言葉の障害



物忘れが目立たず「心の病気」とまちがえられやすい

見逃さないで “治る認知症”

若いほど **治る原因** の割合が高い



正常圧水頭症
(手術で改善)



慢性硬膜下血腫
(手術で改善)



甲状腺機能低下/
ビタミン欠乏



薬・お酒の影響

「おかしい」と思ったら — 受診の進め方

何科へ



もの忘れ外来・
脳神経内科・
精神科

何を持って



お薬手帳・
健診結果・
家族同伴

どう伝える



いつから・どんな場面で・
どう変わったか (時系列メモ)



迷えば **認知症疾患医療センター・相談窓口** へ

まず相談する場所

若年性認知症 支援コーディネーター




各都道府県に配置 / 医療・福祉・仕事を横断して相談



若年性認知症コールセンター

0800-100-2707

仕事・お金の支援（主な制度）

制度	ざっくり内容
 傷病手当金	働けないとき 最長1年6か月の手当
 自立支援医療	通院の自己負担を軽く（原則1割）
 障害年金	一定の状態で受け取れる（若年でも対象）
 介護保険	40～64歳でも初老期認知症は対象
 両立支援	職場・主治医と仕事を続ける仕組み



可否・金額・手続きは 窓口にご相談

今日のまとめ

- ✓ 珍しくない (40代・50代でも)
- ✓ 物忘れより先に 性格・仕事の変化
- ✓ うつ・更年期とまちがえやすい
- ✓ “治る病気”が隠れていることも



年のせいで片づけず、早めに相談を